

彫刻の街こうべ

「彫刻の街こうべ」

について、5年ほど前の決算特別委員会で、市民参画推進局に質問をしたことがあります。

直前に行った出張先のホテルに、舟越保武氏作の「シオン」と呼ばれる少女像があり、何か見覚えがあるような気がして調べると、同じ舟越先生の同名の「シオン」像が東遊園地に、市役所1Fロビーで毎日のように見かける「LOLA」像も先生の作品でした。そこで、「市内には、多数の彫刻があり、もっと市内外の方々に知っていただくよう、ライトアップやITを活用した彫刻の紹介などを行って彫刻を活かしたまちづくりができないですか？」という趣旨の質問をしました。市当局からは、「市内には、彫刻が500点以上あり、彫刻をまちづくりの中に積極的に取り入れてきた結果である。ホームページで紹介している他、ライトアップにも取り組んでいるが、今後も拡大させる。彫刻という神戸の資産をもっと活かしていきたい。」という趣旨の答弁もありました。

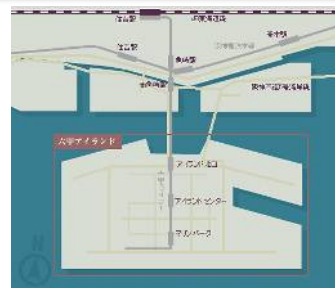
皆さんも、**三宮**、**メリケンパーク**、**大倉山**などにお出かけの際、「そういえば彫刻って言ってたなあ…」と、立ち止まってみませんか？気づかなかった神戸の魅力にお出会いになられると思いますよ。

神戸駅から三宮周辺の彫刻の街こうべ



*詳細は、神戸市ホームページをご参照ください。
「神戸市 彫刻」で簡単に検索できます。

六甲アイランドのの彫刻の街こうべ



昭和時代の神戸市は、「株式会社・神戸市」と揶揄されることも多いですが、その一方で、彫刻によるまちづくりなど、文化の育成にも力を入れてこられました。神戸の先人たちの先を見据えた思いに敬意を表し、「花咲き匂える文化の都」の創造に、こうした資産を活かしていかないといけないな、と感じます。

神戸市の彫刻による街づくり

神戸市では、1960年代の後半から「花」と「緑」とともに「彫刻」をまちづくりの中に積極的に取り入れてきました。須磨離宮公園では、1968年から2年に一度のビエンナーレ型式により「現代日本彫刻展」が開催され、1998年の第15回まで継続されました。一方、近畿圏在住の新進彫刻家を対象にした「神戸新進彫刻家の道大賞展」が具象的野外彫刻展として1981年に開催されると、各地の具象彫刻家の要望を受け全国規模に拡大され、「神戸具象彫刻大賞展'83」と改められて開催されました。その後、第8回の1995年まで継続されています。

これらの展示会の入賞作品を買い上げることによって市内各地への彫刻の設置が進めてこられました。

更に、彫刻による街づくりを、道路の歩行者空間の整備と関連させ、フラワーロードを「花と彫刻の道」として、また、高速神戸駅から文化ホールに至る道路を「みどりと彫刻の道」として、彫刻の設置と併せて整備してきています。

みどりと彫刻のみち周辺

作品の一部をご紹介します！！



作品名 若い女
作者 桜井 祐一
素材 ブロンズ
設置年 1973年
場所 中央体育館西



作品名 天翔ける女神
作者 松本 雄治
素材 ブロンズ
設置年 1981年
場所 中央体育館西



作品名 子供
作者 佐藤 忠良
素材 ブロンズ
設置年 1975年
場所 中央体育館西



作品名 シーホース
作者 壺井 勘也
素材 黒御影石
設置年 1985年
場所 湊川神社西

花と彫刻のみち周辺



作品名 WIND
作者 津野 充聡
素材 ブロンズ
設置年 1986年
場所 布引町4丁目



作品名 WOMAN
作者 朝倉 響子
素材 ブロンズ
設置年 1981年
場所 八幡通4丁目

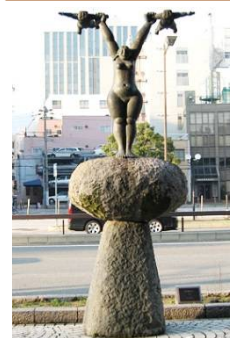


作品名 シオン
作者 舟越 保武
素材 ブロンズ
設置年 1981年
場所 フラワーロード西



作品名 愛「仔馬の像」
作者 柳原 義達
素材 ブロンズ
設置年 1966年
場所 東遊園地噴水東

国道2号海岸線周辺



作品名 空を翔ぼう！
作者 松本 雄治
素材 ブロンズ
設置年 1990年
場所 国道2号海岸線



作品名 反射
作者 山崎 正義
素材 ブロンズ
設置年 1990年
場所 国道2号海岸線



作品名 THE HORIZON' 88
作者 峯田 義郎
素材 ブロンズ・赤御影石
設置年 1989年
場所 国道2号海岸線



作品名 暁の海より
作者 和田 真澄
素材 ブロンズ
設置年 1990年
場所 国道2号海岸線